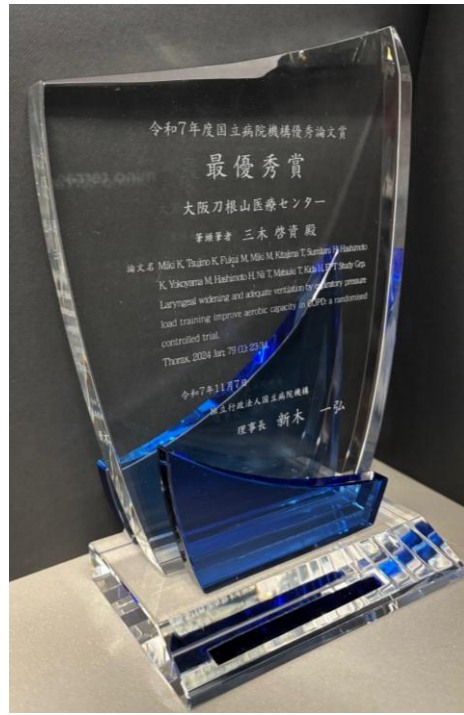


当センターの職員：三木医師が、
令和7年度国立病院機構優秀論文賞の最優秀賞、
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会誌 第1回最優秀論文賞
を受賞しました：



2025年11月 金沢



論文の論旨：

呼吸圧負荷トレーニングによる上気道調節がCOPDの息切れや運動耐容能を改善する。



2025年10月 新潟

受賞者のことば

NHO大阪刀根山医療センター

臨床研究部呼吸学研究室長 兼 呼吸器内科医長 三木 啓資

本研究は、

呼吸圧負荷トレーニングによる上気道調節が下気道疾患であるCOPDの息切れや運動耐容能に利くという仮説を立て、それを当センター及び公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院で無作為化コントロール比較試験により検証したものです。仮説立案から完遂までに7年を要し、更に今後を見据えることが出来るのは多くの皆様方の多大なるご支援と研究体制の支援の賜物であり、心より御礼申し上げます。本研究の糸口を頂いた患者さまには、お礼とご報告のため墓前を訪い、漕ぎ手を失いそのままご自宅に置かれたエルゴメータに目を遣っては今後への決意を新たにすることを今なお鮮明に覚えており、今回の受賞で殊にその思いを強めたところでございます。

現在、当センターでは、

上気道調節は、元気で長く生きるための機能：「運動」「睡眠」「食事」を改善させると考え、COPDに加え、パーキンソン病、多系統萎縮症を対象に上気道調節の有効性を検証する臨床研究を行っております。



今後ともどうぞ宜しくお願い致します。